

令和 2 年度仙台市食品衛生監視指導計画 実施状況(中間報告)

令和 2 年 9 月末現在

1 重点事業

(1)【HACCP（ハサップ）に沿った衛生管理の推進】

○HACCP 普及推進

監視指導施設数 延べ 1,759 件 （前年度同期 1,049 件）

○講習会等

- ・開催回数：23 回 受講者数：482 名 （前年度同期 開催 70 回 受講者 2,938 名）
- ・パンフレット配布 11,077 部 （前年度同期 1,610 部）

○食品等事業者への HACCP 普及推進活動

((公社) 仙台市食品衛生協会への委託事業) 439 件 （前年度同期 2,001 件）

(2)【食肉及び内臓の生食や加熱不足による食中毒防止対策の強化】

○監視状況

生食用牛肉取扱い施設（規格対象） （牛たたき、牛刺し等）	3 件
上記以外の生食用食肉取扱施設 （牛タン刺し、鶏刺し等）	156 件
その他	790 件
計	949 件

（前年度同期 1,147 件）

○啓発文書等

郵送による発送	3 回	273 件
ファクシミリによる発信	1 回	165 件
パンフレット配布	2,128 部	

（前年度同期 郵送による発送 2 回 221 件
ファクシミリによる発信 2 回 284 件
パンフレット配布 1,820 部）

○講習会(市民も含む)

- ・開催回数：11 回 受講者数：216 名
（前年度同期 開催 69 回 受講者 2,192 名）

(3)【リスクコミュニケーションの推進】

○食品安全対策協議会

- ・学識経験者、食品等事業者、消費者の委員 14 名に委嘱、食品の安全性確保に関する施策等について意見交換を実施（年 2 回開催）
（令和 2 年 11 月 19 日および令和 3 年 2 月開催予定）

○せんだい食の安全サポーター

新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止

○せんだい食の安全情報アドバイザー

新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止

2 具体的取組み

(1) 食品等事業者の自主管理推進

〔計画〕

食品衛生法改正により、HACCPに沿った衛生管理が全ての食品等事業者に求められたことを受け、市内の食品等事業者への周知、及びHACCP導入の支援を行います。

【実施状況】

食品等事業者の責務の周知や、食品等事業者による自主衛生管理の推進のため、講習会や、衛生指導を実施。

○衛生講習会（回数／人数）

食品衛生責任者講習会	12回／531名	(前年度同期 10回／1,103名)
営業者対象講習会	32回／702名	(前年度同期 80回／3,336名)
市民対象	9回／165名	(前年度同期 27回／558名)
市政出前講座	0回／0名	(前年度同期 10回／169名)

(2) 製造・加工から消費までの各段階における食品の安全性確保対策の充実

〔計画〕

本市における食品等の生産・製造・流通状況や食品関係施設の実態、食中毒をはじめとした食品衛生上の危害発生状況等を考慮し、重点項目を定め、食品等事業者への監視指導を徹底します。

【実施状況】

食品等の衛生的取扱い管理や、施設の衛生状況等の監視指導及び食中毒予防の観点から食品群別の重点的な監視指導を実施。

○監視状況

ランク	立入回数	対象施設数	延べ監視回数
A（広域流通・大量調理施設・量販店）	年2回以上	622施設	916件
B（違反、不良食品・食中毒発生施設）	年3回以上	1施設	3件
C（集団給食施設）	年1回以上	396施設	99件
D（上記以外の施設）	許可更新時等	27,981施設	34,140件
計		29,000施設	35,158件

(前年度同期 対象施設数 29,100施設 延べ監視回数 39,639件)

○ノロウイルスによる食中毒防止対策の強化

・講習会(市民も含む)

開催回数：13回 受講者数：250名（前年度同期 開催80回 受講者2,595名）

・監視状況

生かき取扱い施設(飲食店、魚介類販売業等)	4,750件
集団給食施設	120件
上記以外の施設	445件
計	5,315件

(前年度同期 5,922件)

・収去検査（年間計画 121 検体予定）

品目	検体数	検出状況
生かき	1	0
弁当・そうざい	0	0

○食品中の放射性物質、残留農薬及び動物用医薬品への対応
収去検査等

	実施状況	今年度計画	違反数
放射性物質 （市場流通品）	63 検体	155 検体	0
放射性物質 （市場外流通品）	14 検体	37 検体	0
残留農薬	93 検体（14 検体）	151 検体（8 検体）	1
動物用医薬品	41 検体（5 検体）	103 検体（8 検体）	0
計	211 検体（19 検体）	446 検体（16 検体）	0

（前年度同期 268 検体（36 検体））（ ）内は輸入食品の検体数（再掲）

○一斉監視（食中毒の多発する夏期及び食品の流通量が増加する年末年始に実施）

主要事業	内容
夏期一斉監視 7 月	施設基準、食品の管理、取扱いに関する監視 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 （前年度同期 6,709 件） 食品の表示に係る監視 ※重複施設あり 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 （前年度同期 5,411 件） 食品検査 新型コロナウイルス感染症の影響により中止
年末一斉監視 12 月～予定	新型コロナウイルス感染症の影響により実施予定なし

○と畜検査

食肉市場において、と畜した牛・豚等について、獣医師による検査を行っています。
特に、牛については、検査対象牛※の BSE 検査を行っています。

①と畜検査頭数（牛）	8,337 頭
BSE 検査頭数（陽性数）	1（0）頭
②検査頭数（豚）	53,676 頭
③検査頭数（馬）	0 頭
④検査頭数（山羊）	0 頭

※検査対象牛；生体検査で神経症状等を示す 24 ヶ月齢以上

○食品検査

食品等の種類	主な項目	検体数 (件)	違反数 (件)	違反内容
魚介類	細菌、ウイルス、貝毒、放射性物質	199	0	
弁当・そうざいなど	細菌、食品添加物	132	0	
野菜・果物と その加工品	残留農薬、食品添加物、放射性物質	112	0	
肉・卵とその加工品	細菌、食品添加物、放射性物質	61	0	
菓子類	細菌、食品添加物	41	0	
魚介類加工品	細菌、食品添加物	51	0	
冷凍食品	細菌、残留農薬	17	1	えだまめ (無加熱摂取冷凍食品)
乳・乳製品、乳類加 工品	細菌、食品添加物、放射性物質	7	0	
穀類とその加工品	細菌、食品添加物	13	0	
アイスクリーム、氷菓	細菌	1	0	
清涼飲料水	細菌、食品添加物	9	0	
冰雪 その他	細菌	6	0	
合 計		649	1	

(前年度同期 合計 1,529件 違反1件)

○施設及び器具等の検査

検査の種類	主な項目	検体数(件)
ふきとり検査	細菌、ウイルス	77
ATP検査	製造工程、調理場内の清浄度等	71
合 計		148

(前年度同期 合計 525件)

(3)食中毒等の緊急事態発生時の対応

【計画】

食中毒等、食品が関係する健康被害の情報を察知した場合には、関係機関と連携しながら、原因を究明するとともに被害拡大防止対策を講じます。また、緊急事態が発生した場合には、国及び他自治体からも情報収集し、情報の集約・一元化を行い、庁内関係各課と情報や対応方針の共有化を図りながら対応します。

【実施状況】

食中毒の発生時の原因究明、拡大防止を実施。

発生件数4件 (令和2年11月19日現在)

	発生日	病因物質	原因施設
1	令和2年5月10日	ウェルシュ菌	飲食店
2	令和2年5月29日	テトラミン	家庭
3	令和2年10月10日	植物性自然毒(ツキヨタケ)	家庭
4	令和2年10月14日	アニサキス	飲食店

(4)相互理解のためのリスクコミュニケーションの推進

【計画】

食品の安全性確保に関する情報を消費者及び食品等事業者に向けて様々な媒体を利用し提供していきます。また、消費者、生産者、食品等事業者及び行政の相互理解を深めるため意見交換会を開催するとともに、様々な立場の意見を正しく理解し、リスクコミュニケーションの支援、仲介のできる人材の育成を図ります。

【実施状況】

○意見交換会・講演会等の実施

実施内容	実施回数など
食品安全対策協議会	14名の委員・2回開催予定 アクションプラン・食品衛生監視指導計画について協議
せんだい食の安全サポーター	(新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止)
せんだい食の安全情報アドバイザー	
食品の信頼性確保 トップセミナー	令和2年9月30日(水)開催 受講人数 53名 食品関係業者(経営者層)対象 「今さら聞けない食品表示法対策」他
食品の安全に関する講演会	令和3年2月開催予定 一般市民対象
市民向け講習会	実施回数：9回 参加人数：165人
食品衛生出前講座	実施回数：0回 参加人数：0人
施設見学の受け入れ	衛生研究所 4回 参加人数：13名 食品監視センター 0回 参加人数：0名 食肉衛生検査所 3回 参加人数：14名
啓発資料の作成配布 ポスター、パンフレット等	食の情報館 4,000部 ・HACCPが制度化されました 3,500部 ・テイクアウトや宅配を始める皆さまへ 2,000部 ・鶏さし・たたき、鶏レバー炙り等によるカンピロバクター食中毒が多発しています!! 2,000部 ・毒きのこによる食中毒を防ぎましょう 1,500部 ・ストップ・ザ・食中毒 3,000部 ・寄生虫・ヒスタミン啓発 2,000部 ・ノロウイルスって知ってる? 4,000部
FAX情報	延べ 84回 送信数4,585件 (腸炎ビブリオ食中毒注意報・ヒスタミンによる食中毒注意喚起・カンピロバクターによる食中毒注意喚起・有毒植物等自然毒について・貝毒情報など)

○食品衛生法違反の公表及び食品自主回収の情報提供の実施

仙台市のホームページ上で以下の情報について公表

- ・食品衛生法第63条に基づく違反者の公表： 2件

公表年月日	違反内容	処分内容
令和2年5月18日	ウェルシュ菌による食中毒	営業停止3日間
令和2年10月15日	アニサキスによる食中毒	営業停止1日間

- ・食品の自主回収に関する情報提供： 2件

公表年月日	回収の理由	内容
令和2年4月16日	食品表示法に違反するもの	期限表示の間違い
令和2年9月24日	食品表示法に違反するもの	特定原材料(卵)の欠落

(5) 関係機関との連携及び実施体制

〔計画〕

食品衛生に関する監視指導が迅速に実施されるよう庁内関係各課や国、他自治体等と連携を図ります。

【実施状況】

○食品安全対策推進会議の開催

- ・ 庁内関係各課で構成（構成員 21 名）、1 回開催（11 月）
（第2回 令和3年1月開催予定）

○食品衛生担当課長会議及び担当係長会議

- ・ 食品衛生担当課長会議
- ・ 食品衛生担当係長会議

○国, 他自治体との連携

- ・ 東北広域連携協議会（未定）
- ・ 宮城県食品表示監視協議会（9 月）
- ・ 全国食品衛生主管課長連絡協議会（中止）
- ・ みやぎ食の安全安心推進会議（宮城県主催）（8 月、11 月）
- ・ 二十一大都市食品衛生主管課長会議（次年度に延期）